

## 紀要 10 巻 を 迎 え て

群馬大学医療技術短期大学部紀要が昭和56年3月10日に創刊されてから第10巻刊行の今日に至るまでの道程を語ることは本大学部図書室と図書委員会の活動の歩みそのものを振り返ることでもあります。紀要発行は図書委員会が担当する規定によって、各科の教官から選出された図書委員と図書係員とを紀要編集委員として年1回発行されてきました。紀要第1巻に掲載された論文は12編でしたが現在では2倍にまで増え、内容も充実しつつあります。投稿規定も何度か改定し、英文要旨を含めてほぼ完全な体裁になったと思われまます。

昭和61年3月には本大学部発足以来の研究業績目録(1977-1985)を紀要別冊(I)として刊行し、以後、紀要付録として毎年発行されています。図書委員と図書係員を中心として組織した創立10周年記念誌編集委員会により昭和63年3月には群馬大学医療技術短期大学部10年史を完成させました。本大学部図書室受入雑誌目録も作製しました。紀要、業績目録、記念誌、雑誌目録の刊行は本大学部図書室・図書委員会の業績として高く評価されるべきものです。

昭和52年10月の看護学科のみでの開学から、衛生技術学科、助産学専攻科、理学療法学科、作業療法学科の増設に伴う各専門図書の実と図書室拡充と書庫増設の努力が続けられてきました。本大学部図書室の特徴は教育・研究の中核として、ニューメディアを積極的に導入しての資料情報センターを目ざしている点にあります。2台のコンピュータによるJOISやNACISIS等とのオンライン情報検索システムやCD-ROM装置による情報検索システムが設置されています。カレント・コンテンツ ディスケット版による検索も可能です。本学図書館の図書目録のオンライン検索システム(OPAC)も利用できます。ビデオ録画・編集・再生装置やLD再生装置等の視聴覚機器も利用可能となりました。

以上のような実績を背景として、昭和63年4月からは群馬大学附属図書館運営委員会に本大学部からも2名の委員を送り、全学の図書館運営と図書館報編集に参加しています。現在、昭和地区に新しい図書分館が計画され、本大学部図書室・図書委員会活動への期待と責任は益々大きくなるうとしています。

図書係員の積極的な業務遂行と歴代図書委員の協力により図書室の近代化と図書委員会の強化がここまで可能となりました。本大学部全教職員の図書室へのご支援に感謝し、記念すべき紀要第10巻刊行の編集後記とします。

(附属図書館運営委員・医療短大図書委員長・紀要編集委員長 浜 名 康 栄 )